

平成25年度

内閣府防災教育チャレンジプラン実践団体

すすんでやりぬく



上之郷の子プロジェクト

自分の命は自分で守る力

を育てる防災教育の推進

岐阜県御嵩町立上之郷小学校

中間報告会コメントシート「体系化」

上之郷小 防災教育推進計画

26年度の 重点目標	防災管理 教職員が児童・生徒の命を守り抜く 災害時の安全確保をはかる	組織活動 家庭や地域や行政と連携し、災害に強い学校・地域・町づくりを進める 行政、地域、家庭等との連携を進める	防災教育 児童・生徒に自分の命は自分で守り災害を乗り越えて生き抜く力を育む 自ら考え、判断し、行動する力を育てる
備える ↓リスク評価	事前 【防災マニュアル作成】 【職員研修】 【オブザーバーの設置】 【学校施設安全確保】	事前 【通学路の安全点検】 【防災推進委開催】 【在宅時の安全確保】 【児童在校時の安全確保】	事前 【命を守る学習】 【カリキュラム共同開発】 正しく恐れリスクへの対処方法を知る
	防災意識調査の実施と分析		
守る ↓被害予防	発災 【防災訓練の実施】	発災 【在宅時の安全確保】 【保小中連携の防災訓練】 【御嵩町防災訓練へ参加】 【近隣自主防災会合同訓練】	発災 【多様な命を守る訓練】 【安全な行動力の育成】 朝の短学活・総合学習 真剣に考え最善の判断力と安全な行動力を身に付ける
ぼうさいかみのこう 上之郷小学校 防災の日			
乗り越える ↓被害から回復する	復興・伝承 【校内研修会の実施】 【防災マニュアル見直し】 【学校環境の改善】	復興・伝承 【学校校地内安全確保】 【通学路の安全確保】 【居住地の安全確保】 【防災活動の継続と発展】	復興・伝承 【月1回防災の日の活動】 【命を守る学習】 (指導方法・内容の追求) 【防災教育の観点を位置づけた授業実践】

中間報告会
コメントシート
「実践当初
の困難の乗
り越え」

～初めて取り組む団体に向けて～
「防災教育開始時の困難」

- 困難① 「人的ネットワークがない」**
困難② 「指導内容・手順がわからない」
困難③ 「教育課程に防災教育活動を入れる余地がない」
困難④ 「活動費がない」

「実践当初の困難
の乗り越え」

困難解消への手立て

「①ネットワーク」→「自ら求める」

- ・「町防災アカデミーに管理職が参加し、防災教育を学習」
- ・「研修の機会を見つけ、職員を派遣」

「②指導内容」→「先進的な活動を知る」

- ・「ぼうさい甲子園表彰式を見学」・「文献・HPで調査」
- ・「防災教育チャレンジプラン応募」

「③教育課程」→「スクラップ&ビルド」

- ・「上小タイム発表会(学習発表会)カット」→総合で20～30時間生み出し
- ・地域掃除(学校行事)→回数の削減
- ・児童集会での学年発表取りやめ

「④活動費」→「各種教育助成金応募」

- ・教育振興財団等教育助成に応募。町教育委員会より旅費補助。
- ・使用内訳:講師料・旅費・消耗品費・防災用備品購入費

中間報告会コメントシート
「活動費生み出しのノウハウ」

活動費生み出し
の努力と工夫

『教育助成金応募』

- ・ 防災教育チャレンジプラン（採択）
- ・ 岐阜県教育振興会研究奨励金（採択）
- ・ ちゅうでん教育振興財団教育助成（採択）
- ・ 東京海上日動教育振興基金教育助成（採択）
- ・ 岐阜教育会（認められず）
- ・ 中日教育賞（候補になるも受賞できず）
- ・ 岐阜県青少年赤十字研究推進モデル校（応募中）
- ・ 日本教育会（応募中） → 26年度

24年度：岐阜県学校安全優良校

25年度：学校安全部門 文部科学大臣賞
ぼうさい甲子園 教科アイデア賞

＜研究主題＞ 自らの生命を守るために必要な事柄を知り、主体的に判断し安全な行動ができる児童の育成

防災教育（授業等）

中間報告会以降
の活動内容

◎自ら考え、判断し、行動する力を育てる

- 児童対象防災講演会の開催
- 災害伝承学習（上之郷地区在住者）の実施
- 防災教育の観点を明確にした多様な授業実践
- 「児童・保護者意識調査」の実施

防災管理（訓練等）

中間報告会以降
の活動内容

◎災害時の安全確保をはかる

- 月1回防災の日
- 職員研修の推進
- 多様な「命を守る訓練」の実施

組織活動（地域・家庭・行政との連携）

中間報告会以降
の活動内容

◎行政、地域、家庭等との連携を進める

- 上之郷小学校区防災教育推進委員会開催
- 地域と連携した多様な防災訓練等の実施
- 保護者・地域に開かれた防災教育授業

DVD

防災教育（授業等）の取組 1

12月 5年社会 防災教育の観点を取り入れた授業

教科名	授業者	単元名	教材名
社会	小栗雅代	自然災害を防ぐ	消防団の活動



観点1) <心構え・生き方>

消防団は、自分達の地域の人々の命は自分達で守るという使命感をもって様々な活動を行っていることを理解できる。

消防団長を
ゲストティー
チャーに

防災教育（授業等）の取組 1

私は、消防団の人はとても大変だしすごいと思いました。理由は仕事もしていてボランティアで人の命を守っているし、(略)私が男の人だったらみんなの命を守るために、1回やってみたいと思いました。そして、消防団の人を少しでも楽にさせれるよう、隣の家の人と安全な場所ににげるなどと考えて行動したいです。

防災教育（授業等）の取組 2

月 1 回 防災の日 「ぼうさい かみのごう」

<毎回の共通活動>

25年度新規内容

- ・募金活動 ・一斉朝活動(10分) ・各種「命を守る学習」
- ・チャイムと放送なし(停電を想定) ・FMらら(地域防災用放送)を聞く

月	防災の日 朝一斉活動
4	「避難の仕方を知ろう」
5	「一次避難を知ろう」
6	「災害の前兆現象を知ろう」
7	「自助パックを確かめよう」
9	「台風とその備え」
10	「防災ヘリについて知ろう」
11	「楽しみながら防災を学ぼう①」
12	「楽しみながら防災を学ぼう②」



防災教育（授業等）の取組 3

御嵩町学力向上推進事業
小中拡大交流会

授業公開
(防災教育の観点
を位置つけた授業)

- | | | |
|----|------|--------------------|
| 1年 | 学級活動 | 「教室で地震が起きたらどうするの」 |
| 2年 | 学級活動 | 「図書館で地震が起きたらどうするの」 |
| 3年 | 道徳 | 「どんどん橋の出来事」 |
| 4年 | 道徳 | 「はるかひまわり」 |
| 5年 | 保健体育 | 「けがの防止（けがの手当）」 |
| 6年 | 社会 | 「長く続いた戦争と人々の暮らし」 |
| 6年 | 理科 | 「大地のつくりと変化」 |

防災教育（授業等）の取組 3

〈参観者感想〉 各教室の落下物対策などは見事で見習わなければと思いました。授業の質が高く、教科・領域の特性をよく把握して単元や単位時間でのねらいが明確になっており、無理して”防災教育”を入れることなく自然な形で組み込まれていたの
で「なるほど」と納得しました。理科授業も地盤沈下の瞬間のようにストンと子どもたちの心に落ちていました。

組織活動(地域・家庭・行政連携)の取組 1

11月 近隣自主防災会
との合同防災訓練

防災ヘリによる救助救出訓練を自主防災会と見学

さまざまな所に消火栓・防火水槽があつた。自分の地域の周りも調べたい。



自主防災会と防災オリエンテーリングを実施

組織活動(地域・家庭・行政連携)の取組 2

10月 可児郡PTA
連合会研究大会

上之郷小学校PTAが
防災教育の取り組みを発表

「世界一面白い減災教室in上之郷」を受講して「ツナ缶でろうそくになる」の紹介

昨年度から継続して
取り組んだ自助パック。
わが子の中身を紹介



「災害図上訓練」
で作成したMyハ
ザードマップの紹介

組織活動(地域・家庭・行政連携)の取組 2

上之郷小学校PTA
の発表を聞いた参
加者の感想

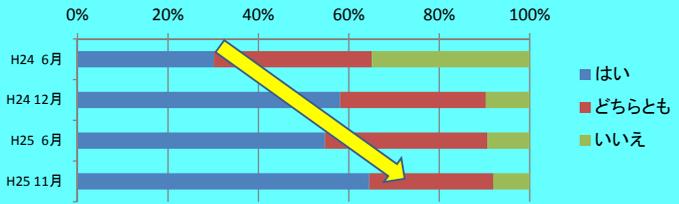


- 上之郷小学校PTA活動はとても素晴らしく親が子を思う気持ちがとても温かかったです。
- いかに子どもたちを守っていくか、子ども自身に防災について学び実行していくか情熱が伝わりました。うちの小学校でも生かしていきたいです。

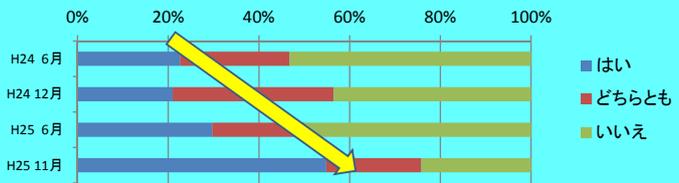
24,25年度意識調査比較(保護者)

「はい」が30%以上伸びた項目

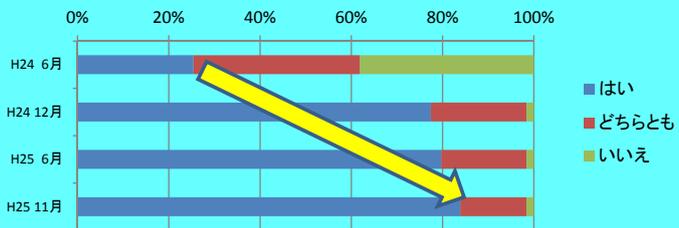
設問	時期	はい	どちらとも	いいえ
災害時の避難場所を決めている	H24 6月	30%	35%	35%
	H25 11月	65%	27%	8%



設問	時期	はい	どちらとも	いいえ
防災グッズを準備している。	H24 6月	23%	24%	53%
	H25 11月	55%	21%	24%



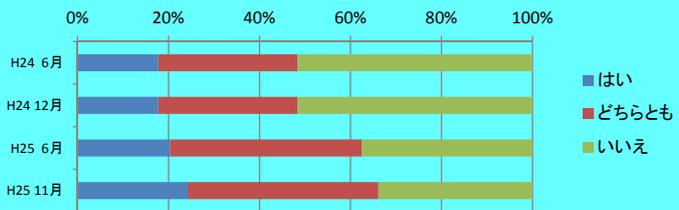
設問	時期	はい	どちらとも	いいえ
自然災害の可能性が校区にあることを知っている	H24 6月	25%	37%	38%
	H25 11月	84%	15%	2%



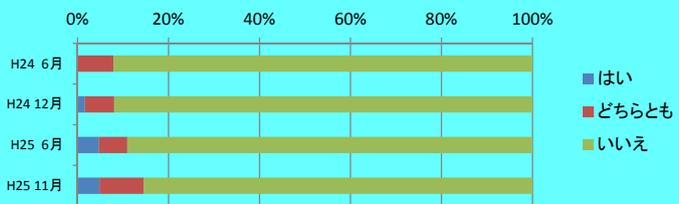
24,25年度意識調査比較(保護者)

変容がみえにくい項目

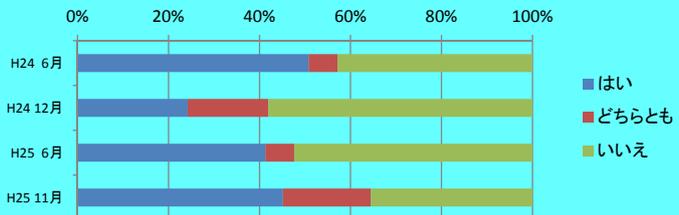
設問	時期	はい	どちらとも	いいえ
家屋に耐震対策をしている	H24 6月	18%	31%	52%
	H25 11月	24%	42%	34%



設問	時期	はい	どちらとも	いいえ
飛散防止フィルムを貼っている	H24 6月	0%	8%	92%
	H25 11月	5%	10%	85%



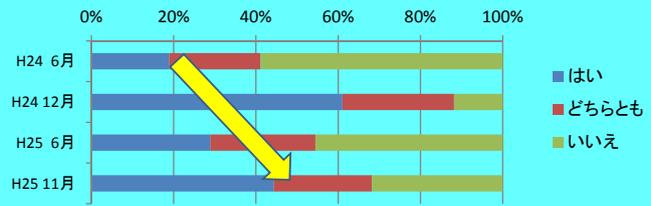
設問	時期	はい	どちらとも	いいえ
電池式ラジオがある	H24 6月	51%	6%	43%
	H25 11月	45%	19%	35%



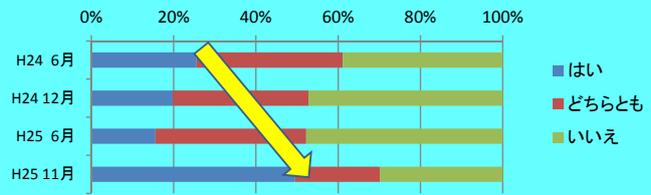
24,25年度意識調査比較(児童)

「はい」が**20%**以上伸びた項目

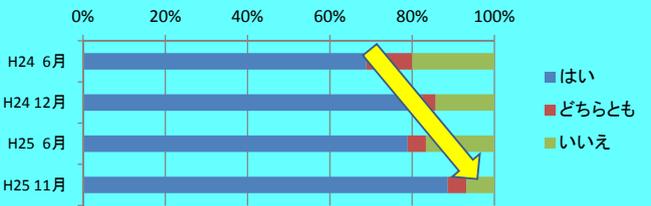
設問	時期	はい	どちらとも	いいえ
災害時の避難場所を決めている	H24 6月	19%	22%	59%
	H25 11月	44%	24%	32%



設問	時期	はい	どちらとも	いいえ
防災グッズを準備している	H24 6月	26%	36%	39%
	H25 11月	49%	21%	30%



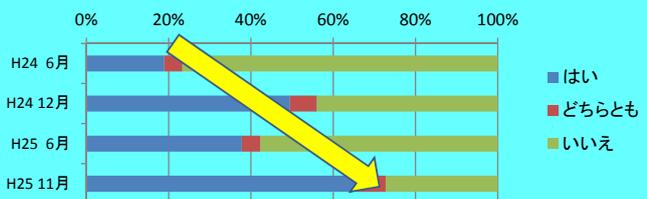
設問	時期	はい	どちらとも	いいえ
懐中電灯を持ち出せるようにしている	H24 6月	69%	11%	20%
	H25 11月	89%	5%	7%



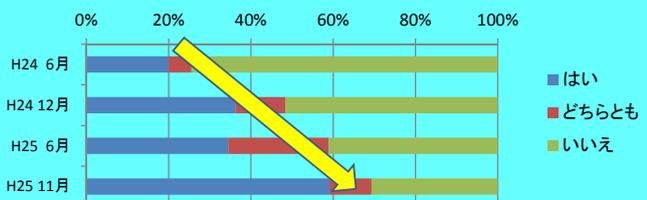
24,25年度意識調査比較(児童)

「はい」が**20%**以上伸びた項目

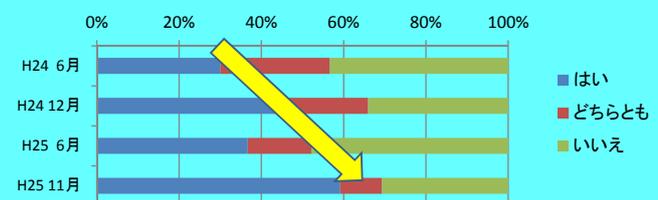
設問	時期	はい	どちらとも	いいえ
着衣水泳の経験がある	H24 6月	19%	4%	77%
	H25 11月	66%	7%	27%



設問	時期	はい	どちらとも	いいえ
流水の怖さを経験した	H24 6月	20%	6%	74%
	H25 11月	59%	10%	31%



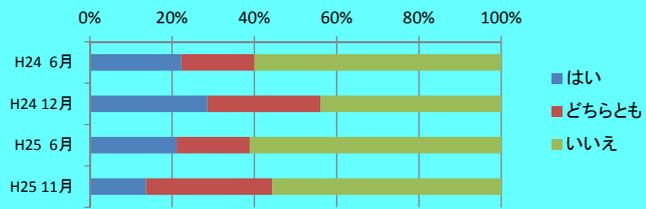
設問	時期	はい	どちらとも	いいえ
擦り傷や切り傷の止血を自分でできる	H24 6月	30%	27%	43%
	H25 11月	59%	10%	31%



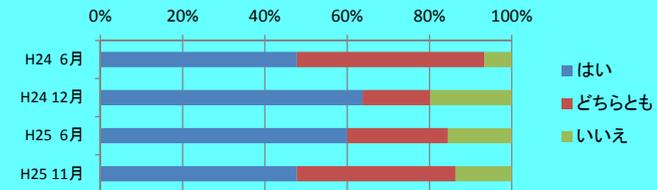
24,25年度意識調査比較(児童)

変容がみえにくい項目

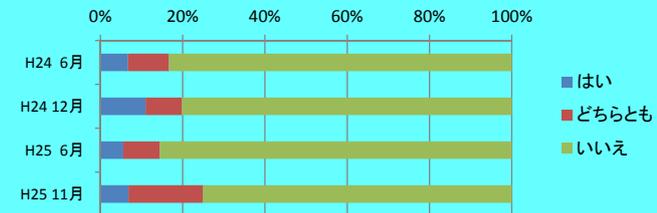
設問	時期	はい	どちらとも	いいえ
地震にそなえた家族会議をしている	H24 6月	22%	18%	60%
	H25 11月	14%	31%	56%



設問	時期	はい	どちらとも	いいえ
自ら安全な場所に避難できる	H24 6月	48%	46%	7%
	H25 11月	48%	39%	14%



設問	時期	はい	どちらとも	いいえ
骨折・捻挫の応急手当が自分でできる	H24 6月	7%	10%	83%
	H25 11月	7%	18%	75%



ご清聴

ありがとう

ございました